

所沢市子ども・子育て会議
(平成30年度第3回)

会 議 録

平成31年2月5日

| | |
|----------|--|
| 会議の名称 | 所沢市子ども・子育て会議（平成30年度第3回） |
| 開催日時 | 平成31年2月5日（火） 午後2時00分から午後3時30分まで |
| 開催場所 | こどもと福祉の未来館 多目的室3・4号 |
| 出席者の氏名 | （会議録別表1）のとおり |
| 欠席者の氏名 | （会議録別表1）のとおり |
| 説明者の職・氏名 | 株式会社サーベイリサーチセンター：猩々 聡子 |
| 議 題 | 議事 (1) 教育・保育施設等の利用定員等について (2) 事業計画平成30年度見直し版（案）について (3) アンケート調査結果速報について (4) 第2期事業計画策定方針（案）について (5) その他 |
| 会 議 資 料 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1：利用定員等の数値の見直し ・ 資料2：所沢市子ども・子育て支援事業計画平成30年度見直し版（案） ・ 資料3：所沢市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果速報 ・ 資料4：第2期事業計画策定方針（案） ・ 資料5：所沢市特定教育・保育施設等重大事故再発防止検証委員会条例（案）に対するパブリックコメント 手続結果速報 ・ 資料6：児童虐待防止に関する連携協定書 ・ 資料7：所沢市立東所沢保育園の園舎売却について ・ 追加資料1：事前にいただいたご意見一覧 |
| | 本田こども未来部長 町田こども未来部次長 こども政策課：並木参事、瀧澤主幹、肥沼主査、鹿島主任、 中島主事、西川主事 こども支援課：市来課長 こども福祉課：小川課長 青少年課：森田課長 保育幼稚園課：小山課長、糟谷主幹 （事務局）こども未来部こども政策課 電話 04-2998-9415 |

(会議録別表1)

所沢市子ども・子育て会議委員会名簿

| | 氏名 | 出欠席状況 | 選出母体等 |
|----|--------|-------|--------------------|
| 1 | 豊泉 尚美 | 出席 | 学校法人 秋草学園 秋草学園短期大学 |
| 2 | 市川 奈緒子 | 欠席 | 学校法人 白梅学園 白梅学園大学 |
| 3 | 西川 達男 | 出席 | 埼玉県所沢児童相談所 |
| 4 | 横須賀 邦子 | 欠席 | 所沢市立小中学校校長会 |
| 5 | 三上 明男 | 出席 | 所沢市民生委員・児童委員連合会 |
| 6 | 上野 勝久 | 出席 | 所沢市PTA連合会 |
| 7 | 小沢 貞泰 | 出席 | 所沢市放課後児童対策協議会 |
| 8 | 藤澤 拓也 | 欠席 | 所沢市私立幼稚園協会 |
| 9 | 喜多濃 定人 | 欠席 | 埼玉県保育協議会 |
| 10 | 藺田 公斗 | 出席 | 地域型保育事業運営団体 |
| 11 | 小松 君恵 | 出席 | 地域子育て支援拠点事業運営団体 |
| 12 | 水野 良司 | 欠席 | 放課後児童健全育成事業運営団体 |
| 13 | 森田 純子 | 出席 | 所沢商工会議所 |
| 14 | 渡辺 良雄 | 出席 | 所沢地区労働組合協議会 |
| 15 | 當眞 昭子 | 出席 | 子ども・子育て支援関係者 |
| 16 | 渡邊 雄太 | 出席 | 市民公募 |
| 17 | 大橋 ちづる | 出席 | 市民公募 |
| 18 | 島田 桂子 | 出席 | 市民公募 |
| 19 | 中村 好恵 | 出席 | 市民公募 |
| 20 | 関 順子 | 出席 | 市民公募 |

| 発 言 者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-------|---|
| 事務局 | <p>～開会～</p> <p>■ 会議成立報告 ■ 会長あいさつ</p> <p>議事に入る前に、資料の確認と本日の会議の流れを説明させていただきます。</p> <p>（資料の確認）</p> <p>事前の配布資料としまして、</p> <p>会議次第 委員名簿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 1：利用定員等の数値の見直し ・ 資料 2：所沢市子ども・子育て支援事業計画平成30年度見直し版（案） ・ 資料 4：第2期事業計画策定方針（案） <p>当日の配布資料としまして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 3：所沢市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果速報 ・ 資料 5：所沢市特定教育・保育施設等重大事故再発防止検証委員会条例（案）に対するパブリックコメント手続結果速報 ・ 資料 6：児童虐待防止に関する連携協定書 ・ 資料 7：所沢市立東所沢保育園の園舎売却について <p>追加資料としまして</p> <p>【追加資料1】：事前にいただいたご意見一覧 がございます。</p> <p>皆様、お手元におそろいでしょうか。</p> <p>次に、本日の会議の流れでございますが、 はじめに、議題1として「教育・保育施設等の利用定員等について」、 議題2として「事業計画平成30年度見直し版（案）について」議題</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>3として「アンケート調査結果速報について」議題4として「第2期事業計画策定方針（案）について」事務局からご説明を行い、それぞれの議題について皆様からご意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>次に、本日の傍聴についてですが、傍聴希望者が1名いらっしゃいます。傍聴者の方に入場していただきてよろしいでしょうか。</p> <p>（傍聴者入場）</p> <p>傍聴者様におかれましては、傍聴要領をお守りいただきますようご協力お願い申し上げます。</p> <p>それでは、議長に議事の進行をお願いいたします。</p> <p>■ 議事</p> <p>本日の流れについては、先程の事務局からの説明のとおりです。</p> <p>それでは議題1の「教育・保育施設等の利用定員等について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>～事務局より資料1、2に基づき説明～</p> <p>ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p> <p>保育園等の来年度4月入園の申請者数は何人なのかお聞きします。</p> <p>来年度4月入園の申込みについては、昨年11月に受付を行ひまして、2月8日（金）にその結果を発送させていただき予定で準備を進めております。毎年度、申請者数と1回目の利用調整による内定者数と入所保留数については、定点観測をしております。これらの数字は、申請者が市外に転居する、申請を取り下げる等の理由で、日々変化しており、毎年度同じ時点で評価をするために、定点観測を行っております。そのため、2月8日（金）にその数字を確定するために準備を進めておりますので、本日の時点でお答えはできません。</p> <p>昨年度は申請者数等の数字を提示していただいたと思うので、参考までに昨年11月1日時点の数字をご提示ください。</p> |
| 会長 | |
| 事務局 | |
| 会長 | |
| 委員 | |
| 事務局 | |
| 委員 | |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>昨年度についてもこの時点で申請者数等はお答えしていないと思います。今年度につきましては、結果が出た時点で、最終的な数字を確定し、ご報告したいと考えております。</p> |
| 委員 | <p>わかりました。では、もう一つお聞きします。現在、国でも待機児童を解消するための努力がなされていると思います。それを受けて、現場の所沢市でも、待機児童を解消することが求められていると思います。そこで、平成31年度に向け、こども未来部として待機児童を減らしていくための様々な政策の中で、定員数を増やすという計画を立てたけれども、財務部との調整の結果、資料1のような結果になったのでしょうか。これらの途中経過についてお聞きします。</p> |
| 事務局 | <p>待機児童対策につきましては、今年の10月から幼児教育・保育の無償化が始まることから、保育需要がどのように変化していくのかを注視していかなければならないと考えております。その中で、今後の待機児童対策として、既存の施設の有効活用ということで、保育園の定員の弾力化や、幼稚園の認定こども園への移行等を行いまして、定員を確保していきたいと考えております。</p> |
| 委員 | <p>資料1に、3つの地域で3つの幼稚園の認定こども園への移行が取りやめになったと書いてありますが、どのような理由で取りやめになったのかお聞きします。</p> |
| 事務局 | <p>幼稚園から認定こども園への取りやめについては、先ほど申し上げたことと関連するのですが、幼児教育・保育の無償化による需要の変化、それに伴う事業収支の変化などを見極めてからではないと、移行は難しいという判断で取りやめたと事業者からは聞いております。</p> |
| 会長 | <p>他にご意見はございませんか。ないようでしたら、次の議題に移ります。それでは、議題2「事業計画平成30年度見直し版（案）について」事務局から説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>～事務局より資料2、追加資料1に基づき説明～</p> |

| | |
|-----|--|
| 会長 | <p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p> |
| 委員 | <p>平成30年度中に民間の認可保育園の新設希望がいくつあったのかを教えてくださいたいです。また、平成31年度以降に向けて、民間の認可保育園の新設希望があった場合、新設は可能なのか、それとも市の判断が必要なのかお聞きします。</p> |
| 事務局 | <p>平成31年度に向けて、5つの小規模保育事業所が定員増ということで、保育枠の拡充を行う予定でございます。まだ、定員変更の手続き等が済んでいないことから、具体的な施設名については伏せさせていただきます。平成31年度に向けての民間保育園の新設希望については、現在のところ相談等は受けておりません。</p> |
| 委員 | <p>民間保育園の新設希望があれば、新設できるということによろしいでしょうか。もしくは、補助金の関係もあるでしょうかから、認可保育園の新設等は市の判断で行っていくのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>議題1で説明させていただいたことと重複しますが、原則としましては、既存の施設を有効活用していく形で、保育枠を確保していくというのが市の考え方でございます。今後、大規模開発等で保育需要が大幅に伸びることがあれば、認可保育園の新設も考え得るところですが、現在のところでは、既存施設を有効活用して対応してまいります。</p> |
| 委員 | <p>今年度の保育園の申込み数や、入所保留数は2月8日（金）に決定するとご説明がありましたが、我々はどのようにその数字を知ることができるのでしょうか。ホームページ等で周知されますか。</p> |
| 事務局 | <p>保育園の申込み件数や入所保留数についてはホームページ等での周知は行っていません。最終的には、来年度のこの子ども・子育て会議の中で、待機児童について議論する際にご報告することになると思います。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>これらの数字は市民の皆様にとって、とても関心度の高いものだと思います。我々はこの会議の中で知ることができるかもしれませんが、一般の市民の方の中にはこれらの数字へのアプローチの仕方がわからない方もいると思います。市民の知る権利を確保するという意味でも、市民の皆様がこれらの数字を知る方法を考えていただきたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>最終的な申込みの状況等については、国の保育所等利用待機児童数調査の中で、待機児童や入所保留の定義が示されますので、それに沿って決定した数字が、市として責任をもって提示できる数字だと考えております。今回の1次の利用調整から、申請の取下げや市外への転居等で数字の変動がありますので、最終的な待機児童数を発表させていただきたいと考えております。</p> |
| 会長 | <p>その待機児童数等の数字をどのように市民の方々に周知していくかということも含めたご質問ではないですか。</p> |
| 事務局 | <p>それらの数字の周知の仕方については、今後検討していきます。</p> |
| 委員 | <p>先ほど、幼稚園から認定こども園への移行が取りやめになった理由として幼児教育・保育の無償化が挙げられましたが、幼児教育・保育の無償化の話が出る以前から認定こども園への移行の話はあったと思いますし、本当に幼児教育・保育の無償化だけが、認定こども園への移行を取りやめた理由なのか疑問に思っています。市でも、認定こども園への移行も踏まえて保育枠の過不足を判断している状況だと思いますが、いつまでこの状況が続くのでしょうか。現在のところ、幼稚園から認定こども園への移行をいつまでに行うかがはっきりしていません。例えば、幼稚園から認定こども園への移行をもう行わないということになれば、新しい方法を考えることにもなると思いますし、小規模保育施設や、民間保育園を運営している事業者に新設の意向調査なども行うことになると思います。ですので、幼稚園の認定こども園への移行を進めていく期間というのがはっきりしていないことに疑問を感じています。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>市としても、幼稚園から認定こども園への移行が取りやめになったことで、その代案をどのように考えていくか、苦慮している状況でございます。この後の議題のアンケート調査結果の中にもありますが、今後、幼児教育・保育の無償化が始まった場合、こういった施設を利用したいかという設問に対し、幼稚園を利用したいと回答された方もいらっしゃいます。また、幼児教育・保育の無償化を国に先んじて実施した自治体では、保育需要が増え、待機児童数が全国で最多になってしまったという事例もあります。ですので、今後、保育需要や待機児童数等がこういった状況に展開していくのか、事業者の方もわからないのではないかと考えております。そのため、今後の状況を注視しながら、対応を模索していく必要があると考えております。</p> |
| 会長 | <p>ほかにご意見がないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。それでは、事務局から議題3「所沢市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果速報」について説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>～事務局より資料3に基づき説明～</p> |
| 会長 | <p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p> <p>《質疑・応答なし》</p> |
| 会長 | <p>ご意見がないようですので、次の議題に移りたいと思います。それでは、事務局から議題4「第2期事業計画策定方針（案）」について説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>～事務局より資料4に基づき説明～</p> |
| 会長 | <p>追加資料1の委員の方のご意見について、事務局はどうお考えですか。</p> |
| 事務局 | <p>追加資料1に記載されている委員のご意見のとおり、確かにこの子ども・子育て会議では保育の量について議論されることが多くなり</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>ちですが、保育の質の面に関しても第2期子ども・子育て支援事業計画の策定を進めていくにあたって、この子ども・子育て会議の中で委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。委員の皆様からいただいたご意見を踏まえながら、保育の量も保育の質も充実した計画にしていきたいと考えております。</p> |
| 会長 | <p>そのほかにご意見はございますか。</p> |
| 委員 | <p>国の待機児童を0にしようとする動きを受けて、所沢市でも待機児童を0にするということをこの第2次事業計画の計画期間に設けるのでしょうか。私は設けたほうが良いと思います。</p> |
| 事務局 | <p>第2期子ども・子育て支援事業計画は、途中で年号が変わりますが、平成32年度から36年度までの5年間となっております。国では、待機児童を解消するためのプランとして子育て安心プランを策定しております。この子育て安心プランでは、平成32年度末に待機児童を0にするという目標を掲げております。従って、第2期子ども・子育て支援事業計画についても、子育て安心プランと整合性を図り、供給量等の数字を示していきたいと思っております。</p> |
| 委員 | <p>それは、所沢市としては第2期事業計画に待機児童0という言葉は入れないと考えてよろしいですか。</p> |
| 事務局 | <p>第2期子ども・子育て支援事業計画の中にも、5年間の教育・保育の需要と供給の計画を示す表がございます。この表の中で、子育て安心プランと整合性を図るため、平成32年度末には待機児童を0にする供給量の数字を示さなければならないと考えております。</p> |
| 会長 | <p>アンケート結果速報の中の「今後、子ども・子育て支援で充実を希望すること」という設問で、「幼児期の学校教育・保育の充実」や「子どもの居場所づくり」といった回答があります。また、待機児童についても非常に大きな問題だと考えております。アンケートの結果から、ただ量的なものを見るのではなく、私たちが何を読み取って所沢市の子どもたちとその保護者のために、どのような配慮が必要で、何</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>をすればいいかを考える必要があると思います。次回からアンケートの結果を踏まえた第2期事業計画の策定に向かっていくと思いますので、この子ども・子育て会議で委員の皆様からご意見をいただき、事務局の考えだけでなく、委員の皆様のご意見を反映し、計画を具体的なものにしていければと考えております。</p> |
| <p>委員</p> | <p>子育てに関しては量の問題、質の問題を含め、様々な問題があると思います。待機児童問題の他にも、出生率をどのように上げていくかという点についてもよく話題に上がります。先進国の中でも際立って低い出生率は、今までの子育て支援で足りなかった部分が反映された結果だと感じております。国や埼玉県ホームページで出生率1.8を目指すといった目標を掲げているのを目にしたことがありますが、所沢市として出生率をどれくらい上げるという具体的な目標はあるのでしょうか。他の自治体では出生率の目標を掲げているところもありましたので、所沢市はどうかと思い質問させていただきました。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>出生率については、国や県の意向に沿った形で取組を進めていく必要があると考えております。今回の幼児教育・保育の無償化というのも国が少子化対策として打ち出したものです。幼児期の教育・保育にかかる経済的負担が子どもを生むことの支障になっており、この経済的負担を軽減することを目的としておりますので、少子化対策の1つと考えております。</p> |
| <p>委員</p> | <p>出生率を目標として設定しなくてもいいですが、様々な子育て支援施策の結果として、出生率が回復すれば、この第2期子ども・子育て支援事業計画も意味のあるものになると思います。結果が出るよう様々な施策を実施していただきたいと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ほかにご意見がないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。それでは、事務局から議題5「その他」について報告をお願いします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>～事務局より資料5、6、7に基づき報告～</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>会長</p> | <p>ただ今事務局から報告がありましたが、報告のとおり進めていただくということによろしいでしょうか。また、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p> |
| <p>委員</p> | <p>資料5について伺います。このような検証委員会ができることは、私はとてもいいことだと思います。しかし、重大事故に至る前の段階で問題が発生した場合も十分に対応していただきたいと考えています。なぜなら、以前に私が関わった事例で、所沢市に話し合いの場を設けるよう申し入れをしましたが、十分な話し合いができなかったことがあるからです。重大事故が発生した際、この検証委員会があるからといって全てが十分に解決できるわけではないと思いますので、事故が発生する前に十分な対応が必要だと感じています。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今回、設置しようとしている「所沢市特定教育・保育施設等重大事故再発防止検証委員会」は、死亡事故等の重大な事故が発生した場合、その事故を再発させないために、原因等を検証する組織となっております。委員からご指摘の事故の未然防止については、この検証委員会とは別に、指導監査等の中で指導等を行っております。</p> |
| <p>会長</p> | <p>資料6についてお聞きします。児童虐待のあるご家庭が市外に転居してしまうとそのご家庭を追いきれなくなってしまいます。それを防ぐために5市で連携を取るのはとても良いことだと思います。具体的にどのように情報提供や情報共有を行っていくのかは、これから決めていくのでしょうか。現段階でわかっている範囲でお答えいただきたいです。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>この5市についてはこれまでも5市間で転入転出を行う場合には、書面による引き継ぎや、必要に応じて対面での引き継ぎも行っていました。さらに、5市間で引き継ぎの際の統一的な基準を設定するため、どのような場合に、どう対応していくべきか、担当者レベルで話し合い、場合によっては事例の検討会議を行っていく予定です。また、5市間以外についても、これまで書面による引き継ぎや、必要に応じて遠方の自治体から職員が来て、対面での引き継ぎなども行って</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>会長</p> | <p>きました。これまでどおり、転入転出の際の引き継ぎは行っていきますが、それぞれの市町村の判断基準に温度差がありましたので、まず5市間で温度差がないようにしていくための協定書でございます。今後5市以外とも連携を深めていきたいと思ひます。</p> <p>ありがとうございました。今までも連携をしていたのは存じ上げていますが、さらに連携を強化していただきたいと思ひます。</p> <p>以上で本日の議事はすべて終了いたしましたので、事務局にお返しします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>次回の子ども・子育て会議は、議題4でもお示したとおり、5月下旬の開催を予定しております。次回から本格的に事業計画についてご意見をいただくことになると思ひます。詳細は決まり次第、通知させていただきますのでよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、西川副会長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。</p> <p>■副会長挨拶</p> <p>～閉 会～</p> |